

分子夾雑の生命化学 第五回領域会議 プログラム

会場:アクロス福岡 7F大会議室(4/15・16) / 4F国際会議場(4/17)

4月15日(木)			
13:00-13:30	浜地 格	京都大学・工学系研・教授	分子夾雑下での生命分子の直接修飾/機能解析を実現する有機化学
13:30-13:55	小松 徹	東京大学・薬学研・助教	細胞内代謝過程の摂動による生命現象の理解と制御
13:55-14:20	萩原 伸也(R)	理化学研究所・分子生命制御研究チーム・チームリーダー	植物機能の理解と制御を目指した分子夾雑の合成化学
14:20-14:45	田端 和仁	東京大学・工学系研・准教授	夾雑を制御するための細胞融合デバイス開発
14:45-15:10	福山 真央(R)	東北大学・多元物質科学研究所・助教	ナノサイズ分子夾雑環境の構築
15:10-15:30	休 息		
15:30-15:55	後藤 祐児(R)	大阪大学・国際医工情報センター・特任教授	細胞夾雑系における蛋白質の異常凝集の原理と制御
15:55-16:20	田中 元雅(R)	理化学研究所・脳神経科学研究センター・チームリーダー	分子夾雑系におけるタンパク質凝集の制御
16:20-16:45	北原 亮(R)	立命館大学・薬学部・教授	分子夾雑と生物時計
16:45-17:10	金城 政孝	北海道大学・先端生命・教授	回転拡散測定による細胞内微環境とタンパク質相互作用の関連解析研究
17:10-17:35	毛利 一成	理化学研究所・生命機能科学研究センター・研究員	1分子FLIMで明かす神経軸索輸送システムの分子基盤
17:35-17:55	休 息		
17:55-18:20	小澤 岳昌	東京大学・理学系・教授	マウス個体内に発現する細胞膜リセプターの近赤外光操作技術の開発と展開研究
18:20-18:45	真鍋 良幸	大阪大学・理学系・助教	合成生物学的手法による細胞表層糖鎖の形成する分子夾雑の解析と制御
18:45-19:10	神谷 厚輝(R)	群馬大学・理工学研究科・助教	分子夾雑下における生体分子検出法の構築
19:10-19:35	森廣 邦彦(R)	東京大学・工学系研・助教	分子夾雑環境で機能するマイクロRNA応答型リキッドバイオプシー

4月16日(金)			
9:00-9:25	杉本 直己(R)	甲南大学・FIBER・教授	細胞夾雑模倣系の構築と細胞内活性分子設計指針の構築
9:25-9:50	梶本 真司(R)	東北大学・薬学研・講師	水のラマンイメージングによる細胞内夾雑環境の定量評価とその応用
9:50-10:15	竹内 恒(R)	産業技術総合研究所・細胞分子工学研・研究グループ長	分子夾雑環境下におけるタンパク質と薬物の動的相互作用解析
10:15-10:40	倉持 昌弘(R)	東京大学・新領域研・助教	線虫C.エレガンスにおける凝集タンパク質および分子夾雑場のX線1分子観察
10:40-11:05	中曽根 祐介	京都大学・理学系・助教	夾雑微小空間におけるタンパク質の動的挙動一揺らぎ・反応・局在化と機能一
11:05-11:25	休 息		
11:25-11:50	田井中 一貴(R)	新潟大学・脳研究所・教授	組織夾雑系を可視化する特異的ケミカルプローブの開発戦略
11:50-12:15	北 将樹(R)	名古屋大学・生命農学研究科・教授	細胞夾雑系における生理活性蛍光リガンドを用いた標的分子の結合様式解析
12:15-12:40	掛川 渉(R)	慶應義塾大学・医学部・准教授	新規ケモジェネティクス法による脳内記憶・学習回路の制御と理解
12:40-13:05	王子田 彰夫	九州大学・薬学研・教授	生体夾雑系におけるタンパク質不可逆阻害のための有機化学の開拓と創薬展開
13:05-14:15	昼食 & 総括班会議		
14:15-14:40	加地 範匡	九州大学・工学系研・教授	細胞核・細胞質内分子夾雑系定量評価法の開発
14:40-15:05	米田 宏(R)	北海道大学・薬学研・講師	相分離構造体とプロリン異性化の連携機構の解析と可視化ツールの開発
15:05-15:30	武森 信暁(R)	愛媛大学・先端研究・学術推進機構・講師	分子夾雑環境におけるプロテオフォーム動態のトップダウンプロテオミクス解析
15:30-15:55	大塚 洋一(R)	大阪大学・理学系・准教授	極致イメージング質量分析法による多次元分子夾雑情報の把握
15:55-16:15	休 息		
16:15-16:40	田中 成典(R)	神戸大学・システム情報学研・教授	水を通して見る生体分子夾雑系の情報熱力学
16:40-17:05	奥村 正樹	東北大学・学際科学フロンティア研究所・助教	分子夾雑環境における酸化的フォールディングのモニタリング法の開発
17:05-17:30	西田 紀貴	千葉大学・薬学研・教授	試験管内と細胞内での蛋白質の活性の違いを定量するインセルNMR法の開発
17:30-17:55	二木 史朗	京都大学・化学研究所・教授	生体膜の曲率・脂質パッキング状態変化を誘起する機能性ペプチドと展開
17:55-18:20	築地 真也(R)	名古屋工業大学・工学系・教授	細胞内オルガネラ膜結合分子の拡張とin vivo展開
18:20-18:45	林 剛介(R)	名古屋大学・工学系・准教授	生体分子夾雑系で機能するD体人工抗体の開発
18:45-19:10	越山 友美(R)	立命館大学・生命科学部・准教授	夾雑脂質膜環境における金属ハイブリッドチャネル分子の動作機序の解明

4月17日(土)			
9:00-9:25	馬場 嘉信(R)	名古屋大学・工学系研・教授	がん病態環境の分子夾雑マッピングデバイスの開発
9:25-9:50	清水 一憲(R)	名古屋大学・工学系研・准教授	神経筋組織チップによる生体夾雑系の再構築と疾患創薬研究への応用
9:50-10:15	夏目 敦至	名古屋大学・医学系研・准教授	分子トレーシングを基盤としたがんと神経の細胞標的分子の創製
10:15-10:40	中村 浩之	東京工業大学・科学技術創成研究院・教授	細胞内タンパク質-タンパク質相互作用解析を可能とする光ラベル化技術の開発
10:40-11:05	丸山 達生(R)	神戸大学・工学系研・教授	ガン細胞内酵素をトリガーとする自己組織化を利用した選択的抗ガン活性
11:05-11:25	休 息		
11:25-11:50	新井 敏	金沢大学・ナノ生命科学研究所・准教授	分子夾雑空間の熱力学エンジニアリング
11:50-12:15	内田 康雄(R)	東北大学・薬学研・講師	癌細胞の分子夾雑環境の再構築に基づく難治癌の個別化薬療法の診断基盤の構築
12:15-12:40	藤原 慶(R)	慶應義塾大学・理工学部・講師 Remote	細胞サイズ空間特異的な分子夾雑効果の理解
12:40-13:05	松浦 和則	鳥取大学・工学系研・教授	分子夾雑系でのタンパク質提示人工ウイルスキャプシドの自己集合と核酸内包挙動の解析

(R) Zoom によるリモート発表